

水木しげる

# 妖怪道五十三次

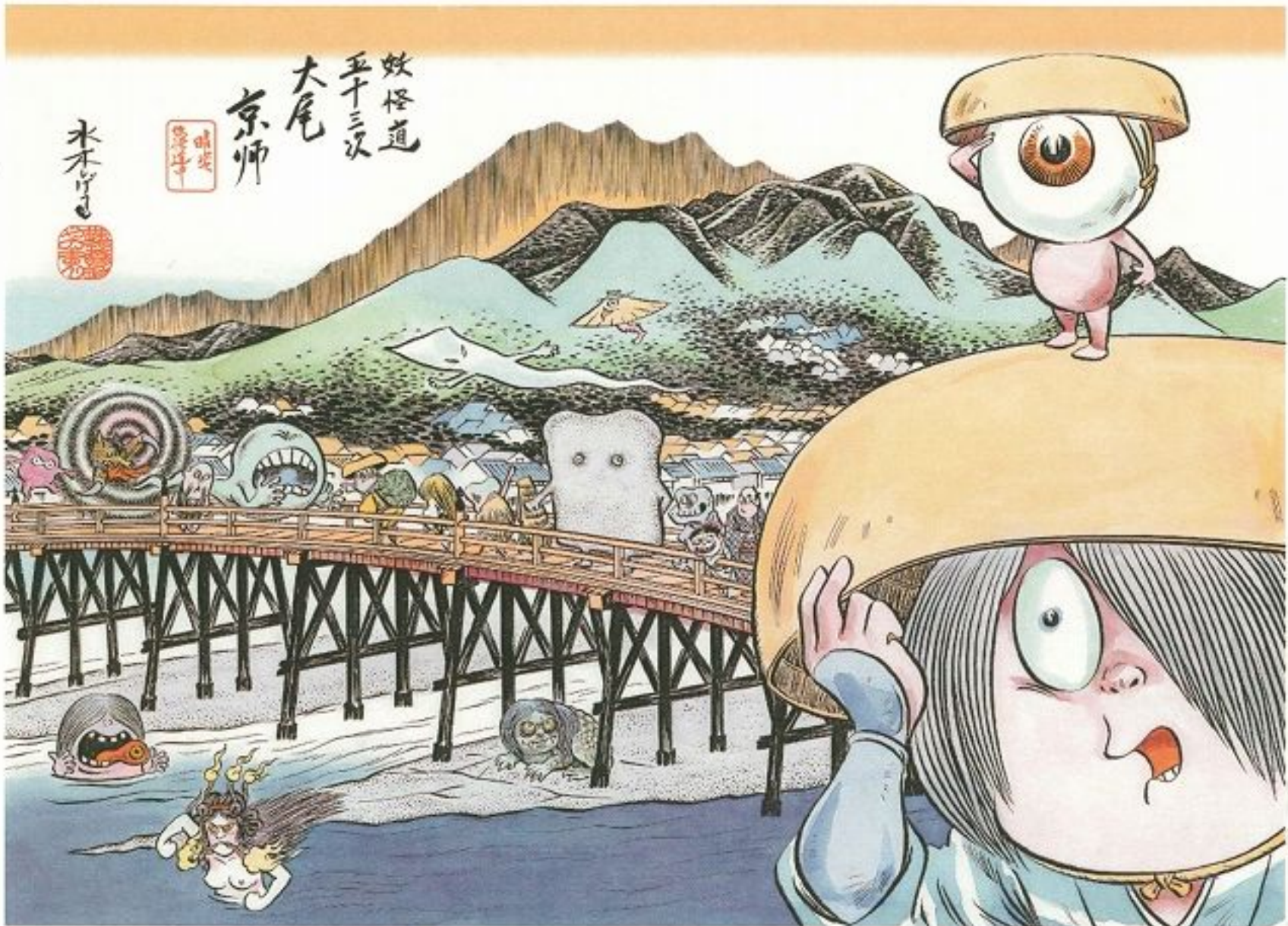
妖怪——。それは恐ろしいもの。と、思われていたのは水木しげる以前の事。『ゲゲゲの鬼太郎』が登場してからは妖怪はおもしろい奴魅力的な存在に変わってきました。すべて水木しげるの偉大な業績です。その本邦最高の妖怪絵師が、齢八十にして新しい仕事に挑みました。画題は「妖怪道五十三次」。浮世絵の名品「東海道五十三次」の妖怪版です。のべ三百体以上の妖怪が登場する道中絵巻をじっくりとお楽しみください。

平成20年7月19日(土)～8月31日(日)  
 開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)  
 休館日 月曜日(7月21日は開館)・7月22日  
 入館料 大人300円・学生200円・小人100円  
 ※南丹市内の小中学生は入館無料

妖怪グッズ販売コーナー

- ・ポストカード
- ・てぬぐい
- ・扇子(せんす)
- ・クッション
- ・おもちゃ
- ・携帯ストラップ

など



妖怪道  
五十三次

大尾  
京師

水木しげる



©水木プロ